

JAPAN サッカーカレッジ

学校自己評価報告書
(令和5年度)

令和6年3月

学校法人国際総合学園
JAPAN サッカーカレッジ

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善にかつようされているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

11. 国際交流

- 海外研修を積極的に実施しているか
- 積極的に外国人と国際交流（実習・研修・イベント）の機会を設けているか

1. 教育理念・目標

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は、特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

サッカーというスポーツを通し、日本のサッカー界・スポーツ界の発展と国際社会・地域社会の発展に寄与する人材を育成する。

【教育目標】

サッカーというすばらしいスポーツを通しての人間力形成という大目標を掲げ地域に根付いた学校・チームを目指し、サッカー界での即戦力を育てるための技能の育成と知識の習得に重点を置き、より実践、現場実習等を数多く取り入れ、こんために必要な講師、設備、教育環境等を最大限整備し、日々の教育を推進する

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 学生一人ひとりの個性と能力に応じ、自主性と創造性豊かな人間を育てる
 - ・ 可能な限り個別指導を心掛けた教育システムを実践する。
 - ・ 校内のみならず、地域・国際社会とのつながりを大切にする。
 - ・ 在学中からの就業体験やボランティアなどの地域貢献を具現化するためのカリキュラムを有する。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。

《社会のニーズ》

- 当校では社会のニーズに柔軟に対応するため、主に社会人の入学を想定して、1年制の研究科や2年制のコーチ・審判専攻科を設置してきた。今後も社会のニーズを踏まえて、学科編成、カリキュラム、教育活動を見直していく。

(3) 課題と改善策

特になし。

2. 学校運営

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- 運営方針は部門長によって作成されるビジョンシートに明記され、全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内においては職員会議を定期的開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム(学生納付金の管理等)等により効率的に運用されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

3. 教育活動

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科主任を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 実践的な職業教育として、企業と連携したインターンシップ等の職業実践型授業や付帯事業と連携した企画運営型授業を全ての学科で行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。

(3) 課題と改善策

- 各学科の教育目標等は業界のニーズを反映すべく改善を重ねているが、組織的かつ継続的に業界のニーズを取り込む仕組みの構築が必要である。
- 平成 25 年度よりコーチ・審判専攻科、サッカーコーチ研究科に業界関係者も含めた教育課程編成委員会を設置した。
- 平成 26 年度よりトレーナー専攻科、サッカー・スポーツビジネス科に業界関係者も含めた教育課程編成委員会を設置した。
- 平成 30 年度よりサッカー専攻科、女子サッカー専攻科、マネージャー・トレーナー科に業界関係者も含めた教育課程編成委員会を設置した。

4. 学修成果

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	5
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職相談室を設置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。
- 「公認C級コーチ」「公認2級審判員」等の専門分野の資格についてはカリキュラムの課程認定化を推進し、取得率の向上を図っている。また、その他の資格についても受験直前の集中講義等の対策授業を実施することで、取得率の向上を図っている。
- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、定例の主任会で学科主任からの報告により把握、共有される。それを受けて毎週開催される学科ミーティングにおいて、学科内に周知され、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施し、退学率の低減に努めている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。校友会では各学年より1名の実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。

(3) 課題と改善策

- 卒業後のキャリア形成への効果の把握と学校の教育活動の改善への活用については、組織的かつ継続的に行われるような仕組みづくりが必要である。卒業生の学校評価への参画等、校友会との連携の強化を中心に体制を構築する。

5. 学生支援

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

(2) 現状

- 進路・就職相談について、主に学科担当者が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。進路・就職相談のみならず、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 保護者に対し、活動報告書を定期的に送付している。また、学生の諸問題等については、適時保護者に連絡を取り連携して問題解決に努めている。
- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供し、情報交換を密に行っている。
- 1年制の研究科や2年制のコーチ・審判専攻科を設置し、社会人のニーズに対応している。
- 高等部との連携により、高等部から専門部への内部進学含め職業体験授業を実施している。

(3) 課題と改善策

特になし。

6. 教育環境

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状

- 学内に公式戦の開催が可能な人工芝グラウンドが設置され、授業において積極的に運用されており、定期的にメンテナンスするための予算も確保されている。さらに近隣施設のアルビレッジ等のトレーニング施設を利用できる体制を取っている。
- 法人が所有する研修施設において、各種講演会、卒業関連イベントを実施している。
- 当校では教育目標の達成のために、インターンシップ、海外研修ともにカリキュラムに含まれており、インターンシップ、海外研修ともに受入先と連携して研修が進められるよう教育体制が整備されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

7. 学生の受入れ募集

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、年間約 50 回の頻度でオープンキャンパスと学校説明会を開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、学校長による県内高校訪問等による学生募集活動も実施している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

8. 財務

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 課題と改善策

現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたい。

(4) 特記事項

学校法人として収支計画を立てている。また情報提供も法人単位としている。

9. 法令等の遵守

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
職員自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
学校評価結果を公開しているか	5

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。

(3) 課題と改善策

特になし。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

(2) 現状

- 地域の小中学校の総合学習における支援や自治会活動への協力等、当校の教育資源を活用した地域貢献活動を行っている。
- 自治会行事への参加、地域のスポーツイベントでのボランティア等を全校の学校行事として実施している。
- 付帯事業として地域の幼児・児童や親子を対象としたサッカー教室や運動に関する講座等、年間を通じて開催している。
- 今年度は新型コロナウイルス拡大により活動に制限がかかることもあったが、感染症対策を十分に取しながら可能な範囲内で実施した。

(3) 課題と改善策

引き続き、外部との接触機会には感染症対策に十分配慮する。

1 1. 国際交流

(1) 採点 適切…5 ほぼ適切…4 普通…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
海外研修を積極的に実施しているか	5
積極的に外国人と国際交流（実習・研修・イベント）の機会を設けているか	4

(2) 現状

- 卒業年次に学科ごとに海外研修のプログラムを作成し実施しているが、近年は新型コロナウイルス拡大の影響により実施することができなかったが今年度より一部再開した。
- 海外でのインターンシップ活動を奨励するとともに、外国人聴講生を受け入れることにより国際交流の機会を設けているが、新型コロナウイルス拡大の影響により実施することが難しい状況が続いている。

(3) 課題と改善策

- 今後、新型コロナウイルスの影響が収束した際には既存のプログラムを再開していく。またオンラインを活用した海外連携・国際交流プログラムの新設を今後検討していく。

以 上